



内子座 藝於遊



屋根まわりの木部の解体④

令和8年2月27日、太鼓櫓の化粧裏板が解体されました。屋根野地板の解体が完了し、その後、各所の化粧裏板や面戸板などが解体されていきましたが、それもいよいよ終盤。この日は、最後となる太鼓櫓の化粧裏板が解体されたほか、太鼓櫓や東西櫓の懸魚も解体されました。

職人さんとの会話の中で、イカと笑いあった内子座太鼓櫓の懸魚ですが、東西櫓の懸魚を含め、いつの日か内子座楽屋で展示していきたいと思えます。どうぞ期待！



太鼓櫓屋根の化粧裏板解体の様子
(2月27日撮影)



◀太鼓櫓の懸魚（左）と、懸魚が解体される前の太鼓櫓（右）。確かにイカの形に見えなくもない（笑）。



大屋根垂木の一部解体



令和8年3月2日、今年度最後の解体作業となる大屋根東面の一部の垂木が解体されました。これは、軒桁の一部に破損が見られ、その部分を修理するための解体作業です。



▲一部に腐食が見られる軒桁



▲東櫓の懸魚及び桁隠し（上）と西櫓の懸魚及び桁隠し（左）。蕪懸魚と呼ばれる形をしている。



▲東櫓の懸魚解体作業の様子